

生活支援コーディネーターの主な活動（6月～10月）

1. 市域での高齢者生活支援

①助け愛隊活動コーディネート

- ・助け愛隊の相談で現地確認を行った CSW が生活課題を把握し支援開始。
- ・夏季は熱中症予防のため屋内活動のみ実施。
- ・助け愛隊ボランティア希望者に隨時説明・登録を実施（登録者+1人）

②マンション交流会 2025 当日資料

- ・講師、報告団体との打合せを実施
- ・チラシ周知：単一自治会、民生・児童委員協議会、吹田市高齢クラブ連合会、福祉委員会などに配布・回覧。

③認知症に関する取組み

- ・9月認知症月間に合わせて「認知症みんなでつながるプロジェクト」を発足。参画団体が実施する講座等を集約しチラシを作成・配布。
- ・認知症当事者・家族の孤立・孤独を防ぐために「市民主体型DX推進実行委員会」を発足させ取組みを推進。

2. 地域での高齢者生活支援

①高齢者対象のスマホ講座をコーディネート

- ・7地区のべ22回開催（高校生、大学生、福祉委員会、介護保険事業所等と協働開催）
 - ➡北千里高校（2年生）と連携して北千里エリア4福祉施設で計8回開催（6月～10月）。
 - ➡山一地区でスマホ講座を開催。公民館や福祉施設、包括、学生と連携して開催。（10月）
 - ➡藤白台地区のマンション自治会でスマホ相談会を開催。

②各地域の地域検討会をコーディネート

- ・13地区で開催（多様な地域団体、地域包括支援センター、介護保険事業所、薬局等で組織）
 - ➡多くの地区で多世代が参加できるイベントを実施。
 - ➡古江台地区で移動スーパー体験会をコーディネート。
 - ➡五月が丘地区で地域の高齢者や障がい者福祉事業所の利用者と学生が、大学の学食で食事を通した交流の機会をコーディネート。

③地域ケア会議との連携・連動について

- ・地域ケア会議、地域ケア会議事務局会議に参加

3. その他

- ①さわやか福祉財団ブロック全国協働戦略会議で吹田の取組みを報告。
- ②生活支援コーディネーター情報交換会 in 北摂（主催：大阪府、さわやか福祉財団等）に実行委員として参画し開催。